

予算特別委員会 (2月26日~3月11日)

■川村のりあき議員が予算特別委員長

2014年度予算案を審議する予算特別委員会が開催されました。日本共産党区議団からは、沢田・川村・あざみ・雨宮議員が参加し、川村のりあき議員が委員長を務めました。

今回の予算特別委員会は、消費税増税を4月に控え、区民生活の厳しさが想定されるもと、区民生活をどう支えていくかが問われた委員会でした。日本共産党区議団は、予算修正案を提案し、待機児童解消のための保育園・学童クラブの増設、介護保険サービスの充実等を求めて論戦しましたが、取り入れられませんでした。さらに国民健康保険料・後期高齢者保険料引き上げ反対の立場から全予算案に反対しました。



川村のりあき
議員

■CSW(コミュニティーソーシャルワーカー)の配置を!

共産党区議団がかねてから要求してきた、区民のあらゆる相談に乗る専門職CSWの配置について、国の法律に基づいた総合相談体制の整備が2015年度義務化されるので、区としても早急に具体化するよう求めました。豊島区では既に配置が進み、実績をあげています。豊島区のように国のモデル事業に手を挙げて、来年度途中からでもCSWを設置するよう求め、区は検討すると答えました。



沢田あゆみ
議員

■認可保育園の更なる増設、幼稚園の預かり保育実施を要求

保育園の待機児童は、2月19日現在、認可保育園に申し込みをしても入れない「不承諾通知」が426人に送られました。予算計上されている2園に追加して認可保育園を整備するよう、また、区立幼稚園で預かり保育を実施するよう求め、区と教育委員会は検討すると答えました。



あざみ民栄
議員

■震災に強いまちづくりを!

耐震診断後の木造家屋の建替、解体工事に補助金を!

新宿区の木造住宅耐震診断・補強設計費補助は569件、耐震改修工事費補助件数は213件(2013年3月末現在)となっており、一定進んできたもののここ数年横ばいとなっています。荒川区、足立区等12区では、耐震診断で補強が必要と判断された建物に対し、建物の解体や建替費用に補助金を出し、地震に強いまちづくりを進めています。こうした他区の例を示し、新宿区でも、建替工事・解体工事にも助成し、区民の命を守ることができるよう耐震化支援事業の強化を求めました。



雨宮武彦
議員

■無電柱化をすすめて安全なまちづくりを

道路の無電柱化は交通安全、バリアフリー、防災等の観点から重要な事業です。現在、新宿区は2路線で事業を行っていますが、2016年度以降の計画はありません。あざみ議員は、歩道幅が狭い道路ほど無電柱化が必要なことを示し、区も「認識している」と答弁しました。今後無電柱化を行う道路を選定する際は、地域からの要望もしっかり受け止めて選定するよう求め、区は「要望を聞きながら選定する」と答えました。

■部活動の充実を

部活動を継続・充実させるために外部指導員の確保については、学校任せではなく、教育委員会としても支援すること、レガスの人材バンクも有効に活用すること、質の向上のために外部指導員の研修を実施すること等を求めました。

予算修正案を提出

日本共産党区議団は、区長の予算案に対し、区民の命と暮らしを守る観点から、6項目(約4億6600万円)の予算修正を提案しましたが、残念ながら否決されました。

- ①要支援者に対する家事援助サービス
- ②要介護者に対する生活支援・外出介助サービス
- ③生活保護世帯への夏の見舞金支給
- ④がん検診の無料化
- ⑤低所得者向け家賃助成
- ⑥小学1年生への防災ずきん配布

●採決結果

自民	公明	共産	民無ク	主権	社会
×	×	○	×	×	×

区民の命と
くらしを守るために

日本共産党区議団が 4つの条例を提案



佐藤佳一
議員

①心身障害者福祉手当条例の一部改正条例案

心身障害者と知的障害者に支給されている福祉手当を精神障害者にも支給するため

②要支援者に対する家事援助実施条例案

要支援の区民に、調理・清掃などの家事援助サービスを介護保険枠外で提供するもの

③要介護者に対する生活援助・

外出サービス実施条例案

要介護の区民に、家事や散歩・病院内の移動のサービスを介護保険枠外で提供するもの

④保険事業の利用に係る使用料条例の廃止条例案

現在有料のがん検診を無料にするため



●採決結果

	自民	公明	共産	民無ク	主権	社会	花マル
①	×	×	○	×	×	○	○
②	×	×	○	×	×	○	○
③	×	×	○	×	×	○	○
④	×	×	○	×	×	○	棄権